

## 「熱音響」

日時：2018 年 3 月 18 日(日曜日) 13:45-18:05 場所：早稲田大学西早稲田キャンパス

「熱音響」は、これまであまり知られていなかった物理現象である。「音」と「熱」の変換メカニズムに注目することで、これまで予想されていなかった物理現象が見出され、急速にこの複雑な物理現象の理解が進んだ。熱音響現象を応用することで、これまでにない環境にやさしいシステムの構築が可能となり、地球全体での喫緊の課題であるエネルギー問題を解決する可能性も秘めており、注目が集まっている。

本シンポジウムでは、複雑な振る舞いをする熱音響現象について、これまでさまざまな分野で行われてきた研究について、5 名の先生方に招待講演としてご講演いただいた。また、その後、6 件の一般講演として、研究成果のご講演をいただいた。

### 招待講演

熱音響学序論	琵琶 哲志	東北大工
線形音響理論を用いた熱音響現象の数値計算	上田 祐樹	農工大
多段熱音響機関の応用	長谷川 真也	東海大工
熱音響システムに対する制御工学の応用	小林 泰秀	長岡技科大
熱流体の画像計測手法を用いた熱音響現象の解明	小林 健一	明治大



デモ風景：東京農工大 上田先生

本シンポジウムでは、60人を超える聴衆を迎えた。シンポジウム内で、活発な議論や様々な質疑応答などがあり、応用物理学会の参加者にとって熱音響現象に興味をもたれるきっかけとなったと考える。世話人一同、非常に有意義なシンポジウムであったことを実感している。最後に、休日にもかかわらず、招待講演をご快諾いただき、とても素晴らしい講演をいただいた先生方や、とても興味深いご発表いただいたご講演者ならびに、丁寧にシンポジウムの手続きなどをお教えいただき、サポートいただきました応用物理学会のスタッフの方々に、こころより感謝させていただく。